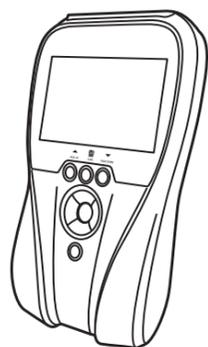


SSS-α III クイックスタートガイド

重要 ご使用前に必ずお読みください

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます
出荷時に診断ソフトはインストールされていません。ユーザー登録・アップデート後に診断を行ってください

1 内容物の確認 ※万一、不備がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください

SSS-αIII 本体  <ul style="list-style-type: none"> 保護フィルムをはがしてご利用ください USBケーブルを使用する際はUSBポートのカバーを外してください USBポートのカバーを外す際は紛失しないよう、保管してください 	OBD2ケーブル 	シガーライターケーブル 	USBケーブル 
	ACアダプタ 	キャリングケース 	クイックスタート (本書) 

※ACアダプタは、Wi-Fi接続でアップデートを行う場合に使用します。
※リスト内容の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

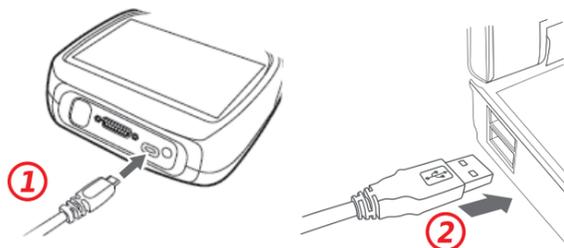
2 保証について

本体保証期間 ユーザー登録から2年間

※期間終了後、1ヶ月以内にアップデート期間延長申込みをいただいた場合に限り本体保証も1年延長されます。

3 ユーザー登録

Step1
SSS-αIIIを付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。



Step2
認識すると通知が表示されますのでクリックして「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックし本体内のファイルを表示させます。「UPDATE.exe」(アプリケーション)をダブルクリックして実行してください。



Step3
「Update アプリ」が起動します。「登録内容変更」ボタンをクリックするとプライバシーポリシーが表示されますので内容を確認して同意するをクリックします。



Step4
「ユーザー登録」画面が表示されますので、すべての入力欄にお客様の情報を入力して送信してください。
(未入力項目があると送信することができません)

ユーザー登録

お名前: ○○△△ 電話: XX-XXXX-XXXX

会社名: ファックス

○○自動車 XX-XXXX-XXXX

購入店名: メールアドレス: ○○商会 XXXXX@XXX.XX.XX

住所: 〒1234567

東京都 ○○区△△町□□

送信 中止

注意

① 〒は半角英数、ハイフン無しで入力してください。
② 住所は2行とも埋めてください。
③ メールアドレスは半角英数で入力してください。メールによる認証作業がありますので必ず確認できるメールアドレスを入力してください。

全ての入力を終えたら、入力情報に間違いがないことを確認して「送信」をクリックしてください。
入力したメールアドレスに登録認証確認メールが届きますので、受信メールを開いて承認作業を行ってください。

注意 ・自動再生がOFFの場合は、スタートボタンを右クリック [エクスプローラー]-[PC]-[リムーバブルディスク]で本体内のファイルを表示させ「UPDATE.exe」(アプリケーション)をダブルクリックして実行してください。

3 ユーザー登録 (続き)

Step5
受信メールを確認すると「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届いています。メールの本文にあるリンクをクリックしてください。



※ 認証確認メールが届かない場合は迷惑メールをご確認ください。

Step6
リンクをクリックすると、ご使用のブラウザで認証が完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。以上でユーザー登録は完了です。



※ アップデート期間・本体保証期間は登録日より2年です。
※ 登録完了メールは迷惑メールフォルダに振り分けられる場合があります。

注意 ・アップデート期間が表示されない場合は「登録受付メール」をもう一度確認してください。
ユーザー登録で送信した回数分「登録受付メール」が配信されますので、最新の「登録受付メール」のリンクをクリックしてください。

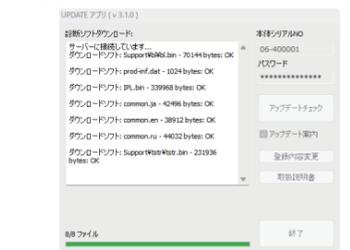
4 アップデート

本体の接続、アプリケーションの起動は「ユーザー登録」の [Step1] - [Step2] を参考にしてください。

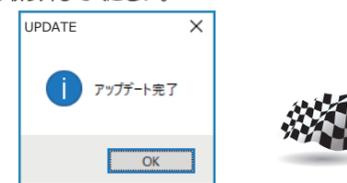
Step1
「Update アプリ」の [アップデート] ボタンをクリックします。



Step2
ダウンロードが始まり、SSS-αIII 本体内に保存されます。



Step3
「アップデート完了」が表示されたら [OK] をクリックしてアプリケーションを終了してください。以上でアップデートが完了しました。「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してSSS-αIII をパソコンから取り外してください。



注意 ・アップデートを開始後「書き込みできません」のエラーが表示された場合はセキュリティソフトによって外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。また、管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認してください。

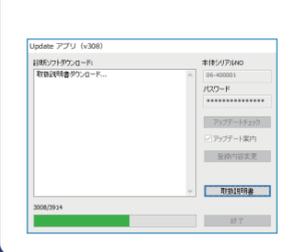
5 取扱説明書のダウンロード

取扱説明書は PDF ファイルでダウンロードして閲覧できます。

Step1
「Update アプリ」を起動して [取扱説明書] をクリックします。



Step2
取扱説明書のダウンロードが始まります。



Step3
ダウンロードが完了すると保存先を指定できますので、任意の場所に保存してください。



Step4
保存した場所にダウンロードした PDF ファイルが確認できます。



注意 ・取扱説明書を保存できない場合は、保存場所を変えて保存してください。
・正常に表示されない場合は、Adobe(R) READER(R) を最新のバージョンにしてご覧ください。

●お困りのときは弊社ホームページをご参照ください。

<https://altia.co.jp/>

・本製品の最新情報については、弊社ホームページをご確認ください。
・本製品のソフトウェアのバージョンアップ等により、本書の記載内容と異なる場合があります。また、本書の内容に関して予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。

6 各部名称

リセットキー
実行中の機能の中断や SSS-αIII の再起動に使用します。

USBポート
付属の USB ケーブルでパソコンに接続します。

DIAGNOSTICポート
OBD2 ケーブルを接続します。

DC-IN
シガーライターケーブルを接続します。(OBD2 コネクタに電源供給がない車両の場合)

スタンド
本体を立てたり、車両のハンドルに掛けたりします。

液晶モニター
各種情報を表示します。

ファンクションキー
・PAGE UP/DOWN キー
1画面ごとの上下スクロールに使用します
・SAVE キー
スクリーンショットに使用します。

キーパッド
画面移動やカーソルの移動、決定に使用します。

EXITキー
実行中の機能の中止や前の画面に戻るときに使用します。

7 画面説明

診断
各種診断を行います。

車両登録
車両情報を登録し入庫車両毎に管理が行えます。

ソフトウェア更新
ソフトウェアのアップデートを行います。

設定
言語や日時など本体設定を行います。

ページ数
複数ページがある場合ここにページ数が表示されます。

故障コード
故障コードが P,C,B,U の頭文字と数字で表示されます。
※一部表示方法が異なるメーカー、年式があります。

データ保存・印刷
本体内に保存する場合は「データ保存」、専用プリンタで印刷する場合は「印刷」を選択します。

OBDII
グローバル OBD2 ソフトで診断を行います。

特殊機能
メンテナンスモード、DPF 再生、エーミング、簡易バッテリーテスト、J2534 モードを行います。

履歴
保存した故障コードやデータなどを画面に表示することができます。

本体ID
本体シリアル No.・アップデータ期間を表示します。

故障コード内容
故障コードに対しての内容を表示します。

フリーズフレーム
ECU が故障と判断して確定させた瞬間の各センサー値が表示されます。

DTCヘルプ
推定故障部位や故障コードの検出条件などの情報が表示されます。

8 基本操作

診断を行う場合は以下の手順で操作してください。



- ・ソフトのアップデートを行い、最新の状態でご使用ください。
- ・本体やケーブルに破損や損傷がないか確認してご使用ください。
- ・診断は基本的にイグニッション“ON”の状態で行ってください。
- ・診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションが“ON”であるか確認してください。
- ・診断を終了する際は「メーカー選択」画面まで戻りイグニッションを“OFF”にしてください。
- ・各種作業を行う際は整備マニュアルを参考に作業を行ってください。
- ・車両のバッテリー電圧が正常な状態で診断を行ってください。

基本操作 (例：全自己診断)

1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。SSS-αIIIを車両に接続してからイグニッション“ON”にします。



2. メインメニューが表示されます。「診断」を選択して「ENTER」ボタンを押します。



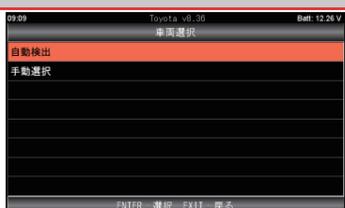
3. メーカー選択画面が表示されます。診断するメーカーを選択して「ENTER」ボタンを押します。



4. 診断ソフトが起動した後「地域設定」などがある場合は選択して「ENTER」ボタンを押します。



5. 診断ソフトによっては「自動検出」から診断車両を特定できます。「自動検出」を選択して「ENTER」ボタンを押します。



6. 「ブランド」「車名」「型式」などを「ENTER」ボタンを押して順に選択していきます。



7. 診断ソフトのメインメニューが表示されます。故障コードの読取りは「診断」を選択して「ENTER」ボタンを押します。



8. 例では全てのシステムを診断しますので「全自己診断」を選択して「ENTER」ボタンを押します。



9. 車両の各システムの故障コードを読取ります。



10. 全自己診断完了の画面です。「診断結果」「印刷」「データ保存」「全自己診断の消去」の項目から選択してください。



診断結果の表示

故障コードがない場合はシステム名の後に「OK」が表示されます。故障コードがメモリされている場合は故障コードの数が表示されます。(例：コードが2個ある場合「2DTC」)



故障コードと内容を確認するには確認するシステムを選択して「ENTER」ボタンを押します。続いて「故障コードの読取り」を選択して「ENTER」ボタンを押します。



診断結果の印刷

診断結果の印刷は「印刷」にカーソルを合わせて「ENTER」ボタンを押します。



※印刷にはオプションの Bluetooth ミニプリンタが必要です。
※「ENTER」ボタンを押す前にプリンタの電源を“ON”にしておいてください。

診断結果の保存

診断結果を保存は「データ保存」にカーソルを合わせて「ENTER」ボタンを押します。データの保存先は本体内の「Reports」フォルダです。



※フォルダ内にファイルが増えすぎると保存ができなくなります。保存された毎にパソコンに移動することを推奨します。

診断結果の消去

故障コードの消去を行う場合は「全自己診断の消去」を選択して「ENTER」ボタンを押します。各システムの故障コードを自動で消去していきます。



※消去はイグニッション“ON”で行います。
※消去できない場合は、現在も故障が発生しており現在故障としてコードがメモリされている状態です。必要に応じて整備を行ってください。



詳しい使用方法や機能については取扱説明書をご参照ください。